

詩・連の関係

□ 次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。

せみはせみでも、つくつくぼうし
本当にぼうしをかぶっているの

「いいえ。」

せみはせみでも、あぶらぜみ

本当に油をかけているの

「いいえ。」

せみはせみでも、クマゼミ

本当にクマより強い

「いいえ。」

せみはせみでも、みんなせみ
本当に、みんな鳴いているの

□

せみは一週間の命

大切に 大切に

【「文集はちおうじの子」より】

問1 □に当てはまる文章はどちらがふさわしいですか。次の中か

ら選びなさい。

ア 「いいえ。」

イ 「はい、そうです。」

□

問2 作者がこの詩から伝えたいことは何ですか。次の中から選びな

さい。

ア せみは、一週間しか生きられない。

イ せみには、あぶらぜみとクマゼミがいる。

ウ せみは一週間の命しかないのので、大切に生きてほしい。

エ せみは、幼虫のときには地中です。

□

おの

詩

文学の様式の一つ。人との関係や自然などから受ける感動を、リズムをもったかたちで表現したものだ。

連

一行空きなどを入れて区切られた、詩の中のそれぞれのまじまり。この詩は「四連」の詩だ。

三

次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。

せみはせみでも、つくつくぼうし

本当にぼうしをかぶっているの

「いいえ。」

せみはせみでも、あぶらぜみ

本当に油をかけているの

「いいえ。」

せみはせみでも、クマゼミ

本当にクマより強い

「いいえ。」

せみはせみでも、みんなせみ

本当に、みんな鳴いているの

「いいえ。」

せみは一週間の命

大切に 大切に

【「文集はちおうじの子」より】

詩表現・段落の関係

問1 □に当てはまる文章はどちらがふさわしいですか。次の中か

ら選びなさい。

ア 「いいえ。」

イ 「はい、そうです。」

イ

問2 作者がこの詩から伝えたいことは何ですか。次の中から選びな

さい。

ア せみは、一週間しか生きられない。

イ せみには、あぶらぜみとクマゼミがいる。

ウ せみは一週間の命しかないので、大切に生きてほしい。

エ せみは、幼虫のときには地中です。

ウ